

平成27年度 作州津山商工会「経営発達支援計画」事業評価の報告

作州津山商工会では、平成27年12月25日に「経営発達支援計画」が認定されました。この計画は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間にわたり、商工会が地域内の小規模事業者の事業の持続的発達を支援する為の事業計画です。

この作州津山商工会「経営発達支援計画」について、平成28年6月16日に開催した、平成28年度第1回経営発達支援委員会において、有識者及び行政関係者を交え、平成27年度の事業実施状況と成果について検証いたしました。結果について下記の通り報告いたします。

※各項目ごとの総合評価はA～Dの4段階で評価しています。

I. 経営発達支援事業

1. 地域の景気動向調査に関する事

【総合評価 B】

管内9事業所に対し、毎月景況調査を実施し、その結果を取りまとめたものを巡回時に事業者へ情報提供するなど活用した。また、行政・金融機関・支援機関等と定期的な情報交換を実施し、収集した情報に関して小規模事業者の経営支援に活用するとともに、情報発信を行った。行政・支援機関との情報交換回数17回。

2. 経営状況の分析に関する事

【総合評価 B】

決算指導対象者、経営計画策定事業者の決算データを小規模支援システムに取り込むことで、経営分析を行った。経営分析件数219件。

3. 事業計画策定支援に関する事

【総合評価 B】

経営計画策定セミナー・個別相談会を11回実施。持続化補助金・経営革新計画等への取り組みにより、事業計画策定事業者数54件。

地域内創業者への支援件数6件。経営革新計画認定件数3件。

4. 事業計画策定後の実施支援に関する事

【総合評価 B】

経営計画フォローアップ件数は52事業者に対し延409回。
金融斡旋件数33件。

5. 需要動向調査に関する事

【総合評価 C】

小規模事業者が製造・販売している製品の需要動向について、巡回指導件数及び浸透率を引き上げ情報収集を行い、販路開拓、取引支援を実施した。小規模事業者への巡回指導件数2536件、指導浸透率75%。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

【総合評価 C】

販路開拓に向け、商工会地域の特産品・工芸品などをPR、販売する物産展を開催。
物産展出展小規模事業者数13件

他の支援機関と連携して、インターナショナルギフトショーをはじめ、各種商談会へ小規模事業者の出店の後押しを実施した。

II. 地域経済の活性化に資する取組

【総合評価 A】

奈義町議会及び奈義町との懇談会を実施

委員会・部会・地区運営会議も活発に開催した。

また、夏祭りなど、行政や地域の様々な団体が実施するイベントの運営協力を行った。

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上の為の取組

【総合評価 B】

つやま産業支援センターを中心とした支援団体による情報交換会に2ヶ月に1回参加。また、金融機関との連絡協調を通じ、情報収集を行った。その他、指導員会議において、情報交換を行い情報の共有を図った。中小企業大学校や商工会連合会が開催する研修会への職員派遣を通じ、情報の収集、支援能力の向上を図った。

◎経営発達支援委員会において、検証した結果並びに平成28年度の取り組みについて

I. 経営発達支援委員会での委員からの意見

- ・ 事業内容を絞って実施することを望む。
- ・ 中山間地域の小売業を如何に支援して行くかシナリオを示して欲しい。
- ・ 地域性を考慮した支援を望む。
- ・ 個店ごとの具体的な経営支援を望む。
- ・ 経営計画策定支援に対し最も期待をしている。
- ・ 「成長発展」だけでなく「持続的発展」を広く小規模事業者に周知して欲しい。
- ・ 経営発達支援計画を実施することで、会員ニーズを探り次年度の事業へと反映させていく良いきっかけになる。
- ・ 各種イベントについては、本当に地域の魅力を発信しているのか再度検討してみるべきで、その事業を実施することがかえって個別の事業所の経営力を弱体化させているケースもある。個社の魅力を高めるイベントへの取り組みが必要である。
- ・ 伴走型支援事業は取り組むことで職員の負担は確実に増えるが、有効に活用し商工会の支援力の向上に役立てるべきである。

II. 平成28年度の取り組みについて

平成27年度の検証結果において、総合評価の低かった“需要動向調査に関する事”及び“新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事”について、平成28年度は、以下の通り取り組むものとする。

1. 需要動向調査に関する事

伴走型小規模事業者支援推進事業の一環として、津山市及び奈義町の住民に対し、アンケート調査を実施することで、消費動向・需要動向を調査し、その結果を収集・分析することで、事業計画作成支援に反映させる。

2. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

津山市・奈義町と連携し、地域の特産品、工芸品を販売、PRするための物産展を開催し、需要動向を把握するとともに小規模事業者の販路開拓に繋げる。